

「ちいさい
おうち」

80年前、アメリカのバージニア・リー・パートンによって描かれたこの絵本は、日本では1954(昭和29)年(初版)に岩波の子どもの本シリーズの一冊として出版されました。今なお、世界中の多くの人に愛されています。絵本の構図は、「ちいさいおうち」が中心に固定され、周りの景色が変化していきます。



143

小学校
4～6年生向け
年組

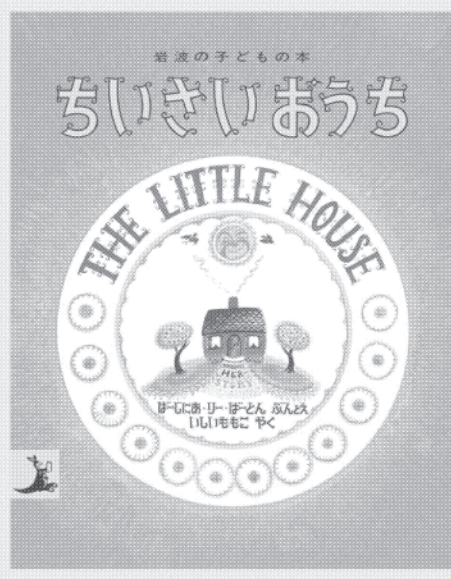
読み継がれる名作

バージニア・リー・パートン 文・絵、石井桃子 訳、岩波書店、1981年、880円

眺め幸せに暮らしていました。ところが、トラックが往来し、家々が立ち並び、周囲はやがて、大都会へと変わっていきます。ちいさいおうちは戸惑いしよんぼりします。そんなある日…。

ページごとに変化する景色を眺めるのが大好きでした。しかし、大人になって読むと、また違った印象を持ちます。自分にとって本当に大切なものは、変わることに、変わらないうちに考えるのは、ちいさいおうちに人生を重ねて読むようになったせいかもしれません。知っている方も、ぜひもう一度。

(絵本専門士 tutti・西谷和子)



「ちいさいおうち」

【言葉の意味】

- 絵本専門士…絵本に関する高度な知識、技能および感性を備えた絵本の専門家
- 構図…絵画・写真などで仕上がりの効果を配慮した画面の構成のこと

- 固定…一つの場所から動かないようにすること。また、動かないこと
- 往来…行ったり来たりすること
- 訳…訳すこと。また、訳したもの。翻訳

設問

【1】この記事で紹介されている絵本の作者・訳者・題名・出版社・出版年・値段を記事から探して書きましょう。

- 作者 ()
- 訳者 ()
- 題名 ()
- 出版社 ()
- 出版年 ()
- 値段 ()

【2】ちいさいおうちはどこでどのように暮らしていたでしょう。()に入る言葉を記事から探して書きましょう。

ちいさいおうちは、(1) の丘の上で、(2) 豊かな景色を眺め、(3) に暮らしていた。

【3】ちいさいおうちの周りはどうのように変わっていったでしょう。また、それでちいさいおうちはどうなったでしょう。()に入る言葉を記事から探して書きましょう。

(1) が往来し、(2) が立ち並び、周囲はやがて(3) へと変わっていった。ちいさいおうちは(4) しよんぼりした。

【4】記事にある「そんなある日…」という文のはたす役割について考えたことを書きましょう。

【発展課題】自分が小さいときに読んだ絵本を読み返して、感じたことや考えたことを家の人や友達と話し合ってみましょう。